



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 29 年 10 月 2 日（月）

木の香るみちづくり 秋田自動車道・秋の植栽 編

今年も春の連休前に秋田自動車道の太平山 PA、八郎湖 SA に寄せ植えしたハニカムプランターを設置して、おもてなし空間づくりをしてきました。日差しが強く乾燥しやすいという設置環境も考慮しながら、ボリュームがあり、花つきや色が良く、さらにさほど手入れの必要がないという昨年以上にかなり欲張りな条件の中から花苗を選んだ効果があり、過去 3 年間では最も長く綺麗な状態が続いていました。

お盆前の 8 月 7・8 日（月・火）には伸びすぎや混みあっているところ、枯れた部分を大胆に刈り込み & 切り戻しをして風通しを良くし、その後も NEXCO 東日本秋田管理事務所では定期的にメンテナンスをされていました。

それでも形が乱れてきたり、弱ってしまったりして、植栽時に比べると全体に見苦しくなりつつあり、この先、開花が期待できないものもでてきたため、この日、能代市内の生花店、花まりのお二人に教えていただきながら植栽作業を行いました。元気の良いものは切り戻しをして形を整えて残し、プランターを撤去する 12 月上旬まで花や葉が楽しめるよう、寒さに強い植物と弱った植物を入れ替えました。

心配された雨もなく、外仕事日和。八郎湖 SA 上りで 9 時半から作業開始です。秋田管理事務所からは平澤副所長はじめ、6 人が参加。花まりのお二人と合わせて 9 人で昼過ぎまで作業して、太平山 PA の上り・下りも植え替えました。今年の夏は全国的に天候不順だったため、例年のような花苗の入荷がなく、選択肢も少なかったのですが、色や形、耐寒性、手入れのしやすさを考慮し、ケイトウやビオラ、アリッサム、ガーデンシクラメンなどを植えました。

八郎湖 SA 下りは花苗が足りなかったため、後日花まりさんが植えて下さることになっています。紅葉以降、景色に色味がなくなった時でも、皆さんの目を楽しませられるよう元気に育つといいですね。

文：渡辺 千明



初めに花まりの中川麻里子さんから作業要領の説明を受けました(上)。恐る恐るだった人もすぐに馴れた手つきになり、流れるように仕事が進みます(下)。



茂り過ぎや伸びすぎ(上)は刈り込み、弱っているものは撤去。アイビーなど元気なグリーンは活かして、涼しげなパステルカラーから、暖かみのある色の花にかえました(中・下)。